

パブリックコメントの取りまとめ結果について

計画等の案の名称	第2次伊豆の国市環境基本計画	
公募期間	令和5年11月16日(木)から令和5年12月11日(月)まで	
提出人数	1人	
意見等の件数	46件	
内訳 意見等により修正した件数		4件
意見等を考慮した上で修正しなかった件数		42件

意見等の概要

1 意見等により修正したもの

1	該当ページ	<u>7ページ</u>	項目 第1章 第5節 第1次計画の評価
	意見等	4,5行目に脱字があります。 「廃止されまが」とありますが、廃止されましたがではないでしょうか。	
	修正した理由	ご指摘のと通りの脱字のため、修正します。	
	修正内容		
		修正後	修正前
		エコファーマー認定制度は・・・廃止されましたが、・・・	エコファーマー認定制度は・・・廃止されまが、・・・
2	該当ページ	<u>41ページ</u>	項目 第4章 1 脱炭素社会の実現
	意見等	使用するエネルギー量や排出される二酸化炭素排出量が見える化し、と記述があるが、どのように見える化しているかが知りたいと感じました。	
	修正した理由	省エネの取り組みを進めるにあたり、現状を知るための省エネ診断の実施や、HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)の導入等による電気使用状況等の把握を想定しておりましたので、事例として追記します。	
	修正内容		
		修正後	修正前
		使用するエネルギー量や排出される二酸化炭素量が見える化(省エネ診断の実施やHEMSの導入など)し、	使用するエネルギー量や排出される二酸化炭素量が見える化し、

3	該当ページ	<u>67 ページ</u>	項目 第5章 第7節 温室効果ガス削減に向けた取り組み
	意見等	ヒートポンプに関しては、高効率のヒートポンプ給湯器のみならず「ヒートポンプ式暖房」や「ヒートポンプ式の洗濯機」もあるので、それらの導入促進も価値があると思います。	
	修正した理由	給湯器に限らず、高効率な省エネ機器への切り替えが求められるため、ヒートポンプ式暖房や洗濯機を含め、省エネ機器への転換の啓発に関する記載を追記します。	
	修正内容		
	修正後		修正前
	★高効率な省エネルギー機器の導入 家庭における省エネルギー性能の高い電化製品等への転換の啓発を図ります。(追記)		★高効率給湯器の導入
4	該当ページ	<u>13 ページ</u>	項目 第2章 第1節 市の概況（工業）
	意見等	「従業者数は 3,670 人、製造品出荷額等は 1,374 万円です。」とありますが単位はあっているのでしょうか？一人当たり 4000 円程度ということですか？ 製品出荷額の推移が令和元年だと 1,374 万円となっているが、伊豆の国市統計書 2022 の 5. 商業工業項目の(3)産業中分類別製造品出荷額等の令和 2 年度の値では 13,742,336 万円となっていて、単位、年度が間違っていると思います。	
	修正した理由	製造出荷額等の単位につきましては、伊豆の国市統計書での表記が正しく、本計画書における単位表記に誤りがあったため修正します。 製造出荷額等の金額につきましては、工業統計調査の結果として公表されている数値を掲載しており、本計画書においては 2019 年 1 月～12 月 1 年間の値を、2019（令和元）年の実績値としての表記をしております。 伊豆の国市統計書においても、同様に工業統計調査の数値を掲載しており、製造出荷額等の金額については 2019（令和元）年 1 年間の実績値となっています。ただし、年度表記については調査をとりまとめた年度として表記しているため、翌年の 2020（令和 2）年としての表記となっています。	
	修正内容		
	修正後		修正前
	製造出荷額等は 1,374 億円です。		製造出荷額等は 1,374 万円です。

2 意見等を考慮した上で修正しなかったもの

1	該当ページ	<u>5ページ</u>	項目 第1章 第4節 計画の期間
	意見等	「本計画の期間は～見直しを行うこととします。」とあるが5年に一度だと変化に追いつけないと思います。3年に一回など期間の見直しをする必要があると思います。	
	市の考え	計画の策定においては、短期的に効果が発生する施策のみならず、中長期的な観点に立った施策も盛り込むことにより、計画期間を長く設定することが有効であると考えられています。 本計画では計画期間を10年間と設定し、5年目の2028年度を中間目標年度、2033年度を最終目標年度として目標指標を立てているため、5年目の中間年度における目標指標の達成状況の確認等により、中間見直しを行うこととしています。	
2	該当ページ	<u>6～7ページ</u>	項目 第1章 第5節 第1次計画の評価
	意見等	数値として具体的に評価し、達成度と原因を示しているのがとても良いと思いました。 資料の基準値の選定理由があると現状と最終目標が適したものであるかの評価ができると思います。	
	市の考え	資料の基準値については、各項目とも第1次計画策定時である2012年度における現状数値を採用しております。	
3	該当ページ	<u>6～7ページ</u>	項目 第1章 第5節 第1次計画の評価
	意見等	公害苦情の件なのですが、広報や啓発活動が効果を上げられておらず、問題が継続していると感じます。そのため、罰則などを導入することを検討してもよいのではないかと考えます。	
	市の考え	公害等については、法律による罰則規定が設けられています。当市における公害苦情の多くは野外焼却に対するものが占められており、そのほとんどが野外焼却禁止の例外である農業残渣（稲わら等）の焼却となっているのが現状です。今後も啓発活動に努めていきます。	
4	該当ページ	<u>7ページ</u>	項目 第1章 第5節 第1次計画の評価
	意見等	文中に3Rの周知をすすめるがありますが、4R, 5Rに増やしてもいいと思いませんか。	
	市の考え	ごみの排出量・リサイクル率の目標設定については、「一般廃棄物処理基本計画」の目標値を踏襲しておりますが、同計画においては、廃棄物処理の基本となる3R（リデュース・リユース・リサイクル）による循環型社会の形成を推進していくものとしています。 そのため、3Rの推進としておりますが、3Rから波及した他のR（リフューズ・リカバー）に関連する取り組み（マイバッグの活用や環境美化活動等）についても推進していきます。	

5	該当ページ	<u>10 ページ</u>	項目 第1章 第5節 第1次計画の評価 3 市民の意識による評価
	意見等	Bゾーンの行政に期待されていることを解決することは大事だと思うが、今話題のSDGsに力を取り入れることで、国全体の支援を得られるのではないかと考えます。地球温暖化は今マストの話題ではない為話題性に欠けていると思う。	
	市の考え	SDGsは環境分野に限らず、幅広い分野での取り組みが必要となっていますが、本計画においてはSDGsの目標に直接的に則したものではないものの、本計画に基づく取り組みがSDGsの取り組みにもつながっていくものと考えており、第4章においては、本計画とSDGsとのつながりをSDGsアイコンの表記により示しています。 地球温暖化については、法律により市町村への「地球温暖化対策実行計画」の策定が求められており、環境分野における大きな課題として扱っております。	
6	該当ページ	<u>12 ページ</u>	項目 第2章 第1節 市の概況（人口・世帯数）
	意見等	人口移動数についても記載してほしいです。 伊豆の国市に住む人数を増やしたいのか、それとも観光に来てくれる方を増やしたいのか分かりにくいです。もし住む世帯を増やしたいのであれば、インフラ等や交通整備を優先して取り組むべきだと思います。また、観光に来てくれる方を増やしたいのであれば、特産品や名所の売り出し方を考えたり、観光鉄道に名所の語り部等を配置するのが良いと思います。	
	市の考え	計画策定における市の概況を知る上での基本的な情報の一つとして、人口・世帯数の推移を示した項目となります。 人口・観光に関する取り組みについては、「伊豆の国市人口ビジョン」「伊豆の国市観光基本計画」をご参照ください。	
7	該当ページ	<u>14 ページ</u>	項目 第2章 第1節 市の概況（観光）
	意見等	韮山反射炉の観光客が2020年に減ってしまっているという事を解決するために、Webサイトやテレビ広告で魅力を発信してみてもいいでしょうか。また、反射炉周辺でイベントを行うことによって集客を狙えるのではないのでしょうか。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
8	該当ページ	<u>16 ページ</u>	項目 第2章 第2節 脱炭素社会 (気候非常事態宣言及び脱炭素宣言)
	意見等	気候非常事態宣言及び脱炭素宣言をするのは素晴らしいですが、発令後の指針が特に書かれていないと思います。一例として、公共交通機関の利用を推し進める方法があると思います。	
	市の考え	当宣言については、まずは当事者としての意識付けを高めていくため意思表示であり、宣言後の指針等については、環境基本計画、地球温暖化対策実行計画、気候変動適応計画により、取り組み内容、目標等を定め推進していきます。	
9	該当ページ	<u>16~18 ページ</u>	項目 第2次伊豆の国市地球温暖化対策地方公共団体実

			行計画（区域施策編）・伊豆の国市気候変動適応計画
	意見等	それを行うためになにを行っているみたいなのが欲しいと感じます。	
	市の考え	第2次伊豆の国市地球温暖化対策地方公共団体実行計画（区域施策編）・伊豆の国市気候変動適応計画については、本計画の第5章において、その内容を定めるものとなっています。	
10	該当ページ	<u>19～20 ページ</u>	項目 第2章 第2節 脱炭素社会（交通手段）
	意見等	交通手段においてバスの割合が非常に低いですが、バスの比率を伸ばす取り組みを行うことで脱炭素につながるのではと思いました。 予約乗り合いタクシーについて、予約手段が現状電話だけですが公式LINEアカウントの作成などを使用して電話以外にも予約できるような手段があれば利用率が上がるのではないかと思います。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
11	該当ページ	<u>19, 41 ページ</u>	項目 第2章 第2節 脱炭素社会（自動車） 第4章 1-3 交通環境の脱炭素化の促進
	意見等	もっと金銭的なメリットや長期的に見てガソリン車よりも金銭的にお得な点を広めれば普及率が上がるのではと感じました。また、純粋なEV車はリチウムバッテリーの廃棄、再利用についてガソリン車に比べて未熟であり環境保全について多くの課題が存在するので、EVをいきなり促進するのではなく、PHEVから段階的にEVに移行できるように計画すべきです。	
	市の考え	補助制度による導入支援により次世代自動車の普及を目指しています。電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHEV）、燃料電池自動車を対象としており、対象を限定することなく支援することにより、導入者の選択によって次世代自動車の普及を促進していきます。	
12	該当ページ	<u>20 ページ</u>	項目 第2章 第2節 脱炭素社会（予約乗り合いタクシー）
	意見等	公共交通機関の強化として、バスの他に市営タクシーの運行は良い案だと思います。ただ、電話予約制である点や運航状況が利用率に影響していると思うので、海外に見られるスマホアプリを利用した予約や運航状況の確認等による「見える化」ができるような電子化によるアプローチを図ってみてもいいのではと思いました。 立花 Go ですが、予約する手間があると思います。電話以外の手段（SNS等）で予約が可能になれば広い世代から利用されるのでは？と思います。又、予約が増え増便できれば、コスト面や便利さを改善できると感じます。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
13	該当ページ	<u>20 ページ</u>	項目 第2章 第2節 脱炭素社会（鉄道）
	意見等	鉄道の利用者がコロナウイルスの影響で低下しているという現状をふまえ、観光客に向けて1日限定の観光用価格の乗車券を作るのはいかがでしょうか。1日限定で5つの駅を行き来出来るようなものがあれば集客も狙えるのではないかと思います。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	

14	該当ページ	<u>21 ページ</u>	項目 第2章 第3節 循環型社会（ごみの組成分析）
	意見等	木・竹類の割合も無視できないと思いました。 そのため木や竹類の資源をリサイクルできるシステムがあれば、より効果的にごみの量が減ると考えました。	
	市の考え	木や竹類のリサイクルについて、当市では資源循環センター農土香において、廃棄される剪定枝を原料とした堆肥を製造しています。全ての木・竹類をリサイクルできるわけではありませんが、農土香を活用した剪定枝の資源化を推進しています。	
15	該当ページ	<u>22 ページ</u>	項目 第2章 第3節 循環型社会 (EM ぼかし肥料の無料提供)
	意見等	EM ぼかしについて検索しましたが、伊豆の国市の EM という pdf しか見つかりません。情報が最新かどうか分かりづらいため、県のホームページを活用して EM ぼかし肥料を現在も提供しているかを記載して欲しいです。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
16	該当ページ	<u>22 ページ</u>	項目 第2章 第3節 循環型社会（集団回収）
	意見等	ごみの集団回収では資料を見る限り学生が行っている様子がないです。そのため、中学生や高校生が放課後等に直接自宅を訪問し、ごみを回収することで地域住民との交流及び効率良くごみを回収できると思います。この案は他の市の中学校で実際に取り組まれていることなので提案させていただきました。 また、地域住民からごみを回収する際にも学生がリサイクル品もあるか促すことで、リサイクル品の回収率も増えると思います。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
17	該当ページ	<u>23 ページ</u>	項目 第2章 第4節 自然共生社会（竹林対策）
	意見等	竹林対策として高齢化で森林ボランティアの活動が減っているとあるが、虫取りを兼ねたボランティア活動であれば子供たちが参加してくれるのではないかと思います。力仕事が必要であれば、保護者と一緒に参加してもらえば良いと思います。環境教育にも繋がると思います。虫取りは環境調査にも利用できると思っています。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	

18	該当ページ	<u>26 ページ</u>	項目 第2章 第4節 自然共生社会（植生）
	意見等	このアカマツ林はどれくらいの規模でしょうか 伝統工芸では松炭をよく使うと聞きました。いまアカマツの生産地が少なく炭が足りないようです。簡単な話ではないと思いますが、アカマツは資源として貴重で需要があると感じるので、整備して生産を行えたらいいなと思いました。製鉄も古来の松炭を使ったたたらと、反射炉でダブル製鉄展示ができるかなと思います。	
	市の考え	環境省「第6回・第7回自然環境保全基礎調査（2001年・2008年）」の「現存植生図」を基にしておりますが、アカマツ林の総面積は約460ha（GIS上での計測）と推計されています。 ご提案については、当事業推進部署への共有を図らせていただきます。	
19	該当ページ	<u>30 ページ</u>	項目 第2章 第5節 生活環境（公害苦情）
	意見等	公害苦情が最も多いのが野焼き（59.4%）ととても多いことから、廃棄物を捨てられる場所が少ないのではないかと推測しました。そこで、廃棄物を気軽に捨てられるような場所や大きいゴミ箱の設置、廃品回収の回数を増やすなどの対策を講じると良いのではないかと思います。	
	市の考え	野焼きの苦情については、そのほとんどが野外焼却禁止の例外扱いとなっている農業における稲わら等の焼却に対するものとなっています。焼却施設（クリーンセンターいず）での受け入れが可能であるため、焼却施設への直接搬入をお願いしています。	
20	該当ページ	<u>32 ページ</u>	項目 第2章 第7節 市民・事業者の意向（市民の意向）
	意見等	市民の皆さんが環境に対する関心が高い、今後実施したいという意見をふまえ、環境問題について情報を得られるように子供向けと大人向けの環境教室の実施をしてみたいかかでしょうか。	
	市の考え	環境学習に関する取り組みとして、環境問題を意識したものを取り入れた各種講座等を実施しています。今後も、環境関連情報の発信にとどまらず、環境学習の場の提供に努めていきます。	

21	該当ページ	<u>40 ページ</u>	項目 第4章 基本方針1（脱炭素社会の実現）
	意見等	<p>省エネルギーの推進が具体的にどのように行われるのかが分かりにくいと感じました。特に、「公共施設をクールシェア・ウォームシェアの場として提供」と「アプリ『クルポ』の周知」が具体的にどの様に行われるのかを知りたいです。</p> <p>公共施設をクールシェアの場として、家庭における冷暖房の削減とあるが、そんなことでは人は訪れないと思います。クールシェアの場にプラス人が来なくなるようなことが必要だと思います。</p>	
	市の考え	<p>「クルポ」の周知については、県の事業として推進される中で、様々な媒体を通じて宣伝されており、市においても広報誌や SNS 等での発信をしているところです。</p> <p>クールシェア・ウォームシェアについては、図書館や文化センターの文化施設、体育館やプールのスポーツ施設を利用することで、家庭での滞在時間が少なくなることによる電気使用（冷暖房等）の削減と併せて、読書や芸術鑑賞による気分転換や、運動による健康増進にもつながるといった相乗効果を期待するものです。</p>	
22	該当ページ	<u>40 ページ</u>	項目 第4章 基本方針1（脱炭素社会の実現）
	意見等	<p>カーボンニュートラルの宣言とされていますが、行政の施設などで環境機能を考慮してデジタル化やオンライン手続きの促進は今どのくらい進めていますか？</p>	
	市の考え	<p>オンライン手続きについて、各種届出等のオンライン化が進められており、市HP（オンライン申請ポータルサイト）により確認できます。</p> <p>デジタル化の推進に関しては、デジタル社会の構築に向けた「DX推進計画」をご参照ください。</p>	
23	該当ページ	<u>41 ページ</u>	項目 第4章 基本方針1（脱炭素社会の実現）
	意見等	<p>民間事業者が進めるレンタサイクル（シェアサイクル）の公共施設への拠点整備に協力し、自転車の利用促進を図ります。</p> <p>シェアサイクル以外にも、自転車用の道路の整備を進める事で自転車通勤・通学がしやすい街づくりを行えば、より脱炭素が出来るのでは無いでしょうか。また、個人的には放置自転車とかを廃棄する代わりにシェアサイクルに転用とかした方が排出CO₂量とか少なくなるのでは無いのでしょうか。また、自転車専用道を観光地周辺に整備すればサイクリングで観光に来る人を呼び込む事が出来るのではないのでしょうか。</p> <p>伊豆箱根鉄道でサイクルトレイン（電車にそのまま自転車で載せられる電車）をやっているの、よりサイクリングしやすい街づくりをしてもらったらより魅力的な街になるのでは無いのかなと思います。</p>	
	市の考え	<p>自転車の利用促進については、自転車活用推進計画の策定を進めており、今後、より具体的な取り組みを推進していきます。ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>	

24	該当ページ	<u>41 ページ</u>	項目 第4章
----	-------	---------------	--------

		基本方針 1（脱炭素社会の実現）	
	意見等	次世代自動車の導入率を上げるための補助制度の認知度が低いと感じました。認知度を上げる活動を行うと同時に、電気自動車の充電スタンドを増やすことで安心して電気自動車という選択肢をとることができると思います	
	市の考え	自宅での充電以外に、移動経路及び目的地での環境整備として、観光施設等への充電設備の設置による利便性の向上が考えられますが、まずは次世代自動車導入への補助による車両購入の促進を図り、次世代自動車の普及状況を進めていきます。その上で、次世代自動車の普及状況を注視しながら、公共施設等への充電インフラの整備の方向性を検討し進めていきます。なお、公共施設に限らず民間施設における充電設備の設置も考えられるため、国による充電インフラ整備への補助制度の周知等を図っていきます。	
25	該当ページ	<u>41 ページ</u>	項目 第 4 章 基本方針 1（脱炭素社会の実現）
	意見等	再配達の削減とあるが、単純に日時指定や置き配を進めるのではなく、再配達の場合に別料金を発生させることで、日時指定や置き配を利用する人が増えるのではないかと。	
	市の考え	ここでは、市民や事業者が宅配を受ける側として、再配達の削減に貢献できる取り組みを取り上げたものとなります。	
26	該当ページ	<u>41 ページ</u>	項目 第 4 章 基本方針 1（脱炭素社会の実現）
	意見等	二酸化炭素排出量の削減に関して、カーボンプライシングの検討も必要だと感じました。 JPX は「カーボン・クレジット市場」を 2023 年以内に施策目標とすることなので、排出量取引制度の導入を各企業に促す必要があると思います。	
	市の考え	カーボンプライシングについては、国が主体となり実施していくことを期待しており、市としてはその動向を把握しながら、国の取り組みへの協力を行っていきます。	
27	該当ページ	<u>41、69 ページ</u>	項目 第 4 章 基本方針 1（脱炭素社会の実現）
	意見等	観光資源の有効活用とカーボンニュートラルの実現に向けて、観光地・駅等の拠点を電動キックボード等で移動できるようにするのはどうでしょうか？	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	

28	該当ページ	<u>42 ページ</u>	項目 第 4 章 基本方針 2（循環型社会の推進）
----	-------	---------------	------------------------------

	意見等	<p>循環型社会の推進の対策にて不用品活用バンクがありますが、もっと大々的に且つ交流も含めた行事を行うためバザーを定期開催するのはいかがでしょうか。</p> <p>「不用品活用バンク」は非常にエコかつ便利で良いシステムなので、もっと多くの人に知ってもらえる用に、積極的に広報をしてもよいと思いました。(扱っている物が一覧で見られる、フリマアプリのようなものが無いと感じたので、似た感じのアプリがあってもいいと思います)</p> <p>意外と便利だと思うのでもっと利用しやすいようにしてほしいです。ゆずります・ゆずってくださいコーナーへの掲載だとレスポンスまでの時間が長すぎて捨てた方が楽だと思い、利用者が減ってしまうと思いました。</p>	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
29	該当ページ	<u>48 ページ</u>	項目 第4章 基本方針5（環境教育等の展開）
	意見等	<p>教育の場で市のCO₂排出量の現状と個人あたりの排出量を数値で伝えることで、個人の当事者意識を高められると考えています。また学校でどのような行動がその数値の減少につながるかを考えさせることで、具体的な数字への意識を伴った環境対策ができると思います。</p>	
	市の考え	<p>学校における環境教育の講座として「アース・キッズチャレンジ」という事業を実施しています。この講座は、「事前取組（電気や水道使用量等のチェック）→講座（地球温暖化や省エネ活動等に関する体験学習）→事後取組（エコ活動の実践、電気や水道使用量等のチェック）→振り返り」というような流れでの環境学習講座となっており、ご提案いただいた当事者意識を高められる講座ではないかと思えます。</p> <p>今後も、ご提案いただいた内容を参考に、環境教育に関する取り組みを推進していきます。</p>	
30	該当ページ	<u>48 ページ</u>	項目 第4章 基本方針5（環境教育等の展開）
	意見等	<p>環境教育をするのであれば、ゴミ拾いや講座学習だけではなく、実際に魚やイカを捌くような体験があれば、より環境や生き物に対する意識が変わると思います。私はイカの一晩干し体験して環境への意識が変わりました。体験後に体験と絡んだ講座があったのでより実感できたことが大きかったためです。</p>	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	

31	該当ページ	<u>49 ページ</u>	項目 第4章 環境でおもてなし伊豆の国
----	-------	---------------	------------------------

	意見等	観光と環境対策を結び付けてるわけですが、取り組んでいるだけでは市外または県外の人に伝える場がなく、地域活性化を目指す点として少し弱いかなと感じます。今現在 SNS を通じて観光する場所を決めている人も多いため、YouTube や Instagram などでの宣伝を力入れていったほうがいいかなと感じました。	
	市の考え	今後、取り組みを周知していく上での参考とさせていただきます。	
32	該当ページ	<u>57 ページ</u>	項目 第5章 第3節 実行計画の基本的事項
	意見等	コラムに書かれている時間、金のダウン、アップが誰目線でなぜ下がったり上がったりするのかが分かりづらいです。	
	市の考え	脱炭素につながる暮らしを実践することがもたらす経済的なメリット等を示すことにより、市民のエコ活動への意識を高めてもらうため、環境省により作成された啓発資料をコラムとして引用しています。	
33	該当ページ	<u>58 ページ</u>	項目 第5章 第4節 温室効果ガス別排出量の現状
	意見等	全体的に見ると 2013 年と比べて 23.9%減ったことがわかります。代替フロン類だけ 3.7%増えたことには何か理由があるのですか。載せてもらえれば民家から出ている分を減らそうとすることが出来ると思います。	
	市の考え	温室効果ガス別の排出状況として、ほとんどが二酸化炭素であることと、年々排出量が減少していることを理解してもらうための資料として掲載しております。 代替フロン類の増加要因については、家庭用エアコンの所有率、自動車保有台数の増加等が影響しているものと推測されますが、引用元の資料（環境省・自治体排出量カルテ）において明確な考察は行われておりません。	
34	該当ページ	<u>67 ページ</u>	項目 第5章 第7節 温室効果ガス削減に向けた取り組み
	意見等	公共施設によるクールシェアやウォームシェアは非常に面白いと思います。特に児童や生徒の長期休暇中に学童施設とすることで、子育ての補助と家庭内の冷暖房使用削減を両立できるのではないかと考えました。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
35	該当ページ	<u>67 ページ</u>	項目 第5章 第7節 温室効果ガス削減に向けた取り組み
	意見等	家庭にある空調を月2回掃除するだけで、年間 17kg の二酸化炭素を削減できるらしいので市で呼びかけるのか、業者を手配するのならば、市で少し負担するなどの対策をすることで、二酸化炭素削減につながると思います。	
	市の考え	家庭における省エネルギーの取り組み事例等を紹介する際の参考とさせていただきます。	
36	該当ページ	<u>69 ページ</u>	項目 第5章 第7節 温室効果ガス削減に向けた取り組み

	意見等	公共共通機関の積極的な利用を図るために伊豆箱根鉄道と交通 IC 系の導入を考えて欲しいです。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
37	該当ページ	<u>69 ページ</u>	項目 第 5 章 第 7 節 温室効果ガス削減に向けた取り組み
	意見等	豊かな自然の中で落ち着いてリモートワークをしたいという県外からの需要もあると思います。シェアオフィスやコワーキングスペース兼宿泊所のような、仕事×余暇を同時に感じられるサービスがあったら、テレワーク普及のモデルケースになるかと思っています。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	
38	該当ページ	<u>69 ページ</u>	項目 第 5 章 第 7 節 温室効果ガス削減に向けた取り組み
	意見等	次世代型自動車の導入の支援を行うだけでは不十分であると感じる。特に、電気自動車や燃料電池自動車に関しては充電ステーションなどの設置などの支援も必要だと感じる。	
	市の考え	次世代自動車の導入支援として、家庭での車両購入と V2H（車両→家への給電設備）設置補助を行っております。 市として、まずは次世代自動車導入への支援を優先的に進めており、充電設備への支援については、国による民間施設等への充電インフラ整備に対する補助制度の周知等を図っていきます。	
39	該当ページ	<u>70 ページ</u>	項目 第 5 章 第 7 節 温室効果ガス削減に向けた取り組み
	意見等	「EM ぼかしの活用による生ごみの自家処理の促進」と書かれていますが、家庭で処理するのも、堆肥化した後に利用するのも大変なので、学校などで集めてはいかがでしょうか。学校で集めた生ごみを給食の残渣と合わせて、堆肥化施設「資源循環センター農土香」に運べば、集約的に堆肥化ができると思います。学生は各家庭から出る生ごみを持っていくことで、生ごみが出る量や、燃やすごみの削減量を実感できますし、集める容器の前に量りを置いて、投入量を記録し、CO ₂ の削減量を計算しても良いかもしれません。生ごみを持っていくのが嫌だから、家庭での食べ残しが減るかもしれません。環境教育にも効果があると思います。将来的には学生が家庭にいない地域の方にも時間帯を決めて開放するなど。	
	市の考え	ご提案については当事業推進部署への共有を図り、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	

40	該当ページ	<u>77 ページ</u>	項目 第 5 章 第 9 節 気候変動の将来予測
----	-------	---------------	-----------------------------

	意見等	雨が大量に降ると狩野川が氾濫し、過去の水害が起きてしまうので、防波堤を高くしてほしいです。	
	市の考え	要望意見として参考とさせていただきます。	
41	該当ページ	<u>77 ページ</u>	項目 第5章 第9節 気候変動の将来予測
	意見等	大量の雨によって伊豆中央高校のグラウンドが水没するので、グラウンドの新たな誘致をしてほしいです。	
	市の考え	要望意見として参考とさせていただきます。	
42	該当ページ	<u>ページ</u>	項目
	意見等	資料がすべて別々であるため、閲覧しにくかったです。まとめたものを一番上においていただけると各項目の資料が欲しい人と、すべてを一読したい人のニーズに合っているように思います。 〇〇計画から〇〇計画に掲げられている政策を基に推進し、と書いてあったため hp 上の資料を探すといった手間が発生しました。関連している資料を同ページにおいてあるとパブコメをしやすくなると思います。	
	市の考え	今後、パブリックコメントを実施する際の参考とさせていただきます。	